

# 野西のサッカー 全国へ

## 絶対王者・青森山田倒し県高校総体初優勝

青森県高校総体のサッカー男子決勝で、絶対王者・青森山田を倒し、初めて頂点に立った八戸学院野辺地西。就任22年目の三上晃監督(49)は、2年後に迫る旧五戸高跡地への移転を念頭に「野辺地にいる間に結果を残さなかったのうれしい」と胸をなで下ろす。運営する学校法人側は五戸でも「サッカー部は(生徒募集の)核」に位置付け、競技環境の整備を進める見通し。「次は自分たちの色をつける段階」と将来的な独自のスタイル創造に意欲を示す。

(桑田友久)

■引かない勇氣  
戦前に三上監督が口にしたのは「絶対に引くな」。過去に守りを固める作戦に出たこともあったが「向かっていかなければ相手は怖くない」。前半7分に厚みのある攻撃が実現し、守備的MF

運んでいた。1失点したものの、粘り強い守備で延長戦を耐え抜いた。PK戦は1人外してからの逆転勝利だった。三上監督は「PKは運ではない。蹴る技術以上に、心の技術が大事」と言い

### 三上監督「次は自分たちの色を」

阿部亮太が先制点。普段は阿部とコンビを組む2年生MF木村隆太のトップ下起用もはまり、パスワークでリズムが生まれた。

成長が王者の県内無敗記録「4-1-8」を止める要因となった。

相手のロングスローの時も「押し込まれているイメージになるな」と

新たな1ページ  
インターハイ出場権を獲得し、県内の頂点に立つという目標はクリアした。だが、「選手権こそが高校サッカー」と秋の



選手に指導する三上晃監督(中央)  
=13日、十和田市

略歴  
みかみ・あき  
1976年  
生まれ。光星学院高(当時)  
—東北学院大。卒業後は飲料メーカー、外資系音響機器メーカーで営業職として勤務。高校の恩師・故銅牛正親氏に請われ、2004年から光星学院野辺地西高(現八戸学院野辺地西高)で教壇に立ちながら、サッカー部監督として指揮を執る。